

市制90周年記念 「姉妹都市 樫原と宮崎の物産展」



樫原市観光PRキャラクター
さららちゃん

両市の特産品や工芸品などを一堂に集めて物産展を開催します。樫原市の職人から「和紙」づくりを直接体験できるコーナーのほか、奈良県ゆるキャラとの写真撮影会を実施します。また、会場で2,000円以上購入した人を対象に、特産品が当たる抽選会を実施します。

□日時／1月16日(金)～21日(水) 10時～20時
※21日は17時まで

□場所／宮崎山形屋新館5階 大催場

【問】商業労政課 ☎21-1792

宝くじ文化公演 と・き・め・きコンサート ～叶 正子・国府 弘子を迎えて～

市制90周年記念事業として、東京ニューシティ管弦楽団の演奏により名曲の数々をお届けします。今回、「Mr. サマータイム」などのヒット曲で知られるサーカスのボーカル 叶 正子さんと、NHK-FM ジャズ・トウナイトでパーソナリティーを務めるピアニスト国府 弘子さんをゲストに迎え、心躍らせる楽しいステージが繰り広げられます。



□主催／宮崎市・宮崎県・(一財)自治総合センター
□日時／2月8日(日) 開場13時30分 開演14時
□場所／宮崎市民文化ホール 大ホール
□料金／一般3,000円(当日3,500円)
高校生以下1,500円(当日2,000円)

宝くじの助成により、特別料金となっています。

【問】宮崎市民文化ホール(☎52-7722)、
文化スポーツ課(☎21-1835)



宮崎市「城の駅」がオープンします

佐土原歴史資料館「鶴松館」東側に、宮崎市「城の駅」(愛称:佐土原いろは館)がオープンします。佐土原城の城下町に位置することから名付けられ、建物内には、観光・歴史・文化などの情報を発信する「情報提供コーナー」、飲食のできる「飲食提供コーナー」、食品や土産物を販売する「特産品等販売コーナー」の3コーナーがあり、オープンを記念してイベントも行なわれます。

□日時／2月1日(日) 10時30分

□場所／宮崎市佐土原町上田島1387-1

【問】佐土原総合支所 地域総務課 ☎73-1111



宮崎の梅祭り

好隣梅まつり

□日時／2月7日(土)・8日(日) 10時～15時

□場所／青島自然休養村梅園「好隣梅」

※当日は、会場周辺を一方通行で誘導します。

【問】木花地域センター ☎58-1111

安井息軒梅まつり

□日時／2月11日(水・祝) 10時～15時

□場所／きよたけ歴史館、安井息軒旧宅

※駐車場は宮崎国際大学、宮崎学園短期大学をご利用ください。

【問】清武総合支所企画総務課 ☎85-1111

月知梅うめまつり

□期間／2月7日(土)～2月22日(日)

□会場／月知梅公園

※車は会場近くにある河川敷の臨時駐車場をご利用ください。

【問】高岡総合支所地域総務課 ☎82-1111



Catch your Dream!

夢をつかめ!

謙虚な姿勢で、プロ棋士を目指す!
県内トップクラスの小学生棋士

Dream 09

吉瀬 蓮くん

高岡小学校



動画は
ココから



Profile

将棋アマチュア四段の小学6年生。昨年2月に小学生名人戦県予選で2連覇、6月に宮崎県学生大会の小学生高学年の部で優勝を果たす。

11月16日に、大塚町の将棋道場で開催された昇段リーグで6戦全勝を果たし、アマチュア四段へと昇段した小学6年生の吉瀬蓮くん。3年生のとき、将棋好きの担任の先生の影響で始めてから、めきめきと腕を上げています。

「菅井五段は、飛車の使い方がとても上手です。僕も菅井五段と同じで、飛車を盤面の左側に動かして戦うので、参考にしています」と話します。吉瀬くんが目指すのはプロ棋士。「でも、僕は終盤での詰めがまだ甘いんです。6月に行われた大会で優勢に試合を運びながら、相手を投了に追い込むことができます、逆転負け

「まだ奨励会プロ棋士養成機関にも入っていないですし、県でも決して上位ではないので、中学では県のタイトルレベルのベスト4を目指しています!」と吉瀬くん。自分を謙虚に見つめて、日々将棋盤に向かっています。

「まだ奨励会プロ棋士養成機関にも入っていないですし、県でも決して上位ではないので、中学では県のタイトルレベルのベスト4を目指しています!」と吉瀬くん。自分を謙虚に見つめて、日々将棋盤に向かっています。

※QRコードの読み取りには、アプリ「QR・JANコード読み取りバーコードリーダー」を推奨しています。

市長コラム



新成人の皆さん、おめでとうございます。
市を挙げてお祝いをします

成人を迎える皆さんへ

新春の祝日「成人の日」はまさに人生の節目。大人としての責任と義務が伴う日本の大事な儀式でもあります。本市では、4,000人を超える新成人の皆さんをお祝いしようと、24会場で成人式の式典が開催されます。

さて、私の20歳の思い出といえば、背広ですね。それも、祖父から「成人の祝いに新調してこい」と仕立ててもらったもので、有頂天になって喜んだことを思い出します。

私は次男だったせいか、自由奔放に育ててもらい、隣り近所ではガキ大将でした。勉強よりも川や山での遊びが得意で、男友達と一緒に川でダクマ

エビ、山で山芋をとっては、祖父のところへ焼酎の肴にと届けていました。代わりに祖父からはお小遣いをもらい、お菓子を買って友達と分け合って食べていましたね。祖父には本当にかわいがっていただきました。今でも感謝しています。

私にとって成人式は、真新しい背広で迎えた人生の大事な節目であり、亡き祖父への感謝の気持ちを新たにできる機会でもあります。

今の日本社会は、必然にして次の若い世代へ引き継がれます。未来を担う若人には、成人という節目を大切に、大いなる希望を持って自分の可能性に果敢に挑戦していただきたいと思ひます。



写真は、昨年の田野地区成人式



◎コラムタイトルは戸敷市長の「宮崎市版・365日誕生花」であるネコノヒゲ(8月31日)にちなんだものです。